

## 保健室は「生徒みんなの場所」



佐藤 弘子 先生

⌘ 狛江市立小・中学校養護教諭合同部会 部長  
 ⌘ 狛江市立狛江第四中学校 養護教諭

学校で、子どもたちの身体と心のケアを支え続ける保健室の先生たち。今回は、保健室の先生の仕事や、日頃から気にかけている点をより深く知るべく、狛江市立小・中学校養護教諭合同部会部長である狛江第四中学校の佐藤先生にインタビューをしました。

ー保健室の先生が普段どのようなお仕事をしているのかについて教えてもらえますか？

はい、養護教諭は学校の保健管理全般を担っています。例えば、体調不良や怪我をした生徒の対応、出欠状況の確認や衛生管理などについては、みなさんのイメージどおり、日常的な仕事として取り組んでいます。その他にも年に数回健康に関する講演会の調整・準備や、生活指導部や教育相談コーディネーターとしての職務にも取り組んでいます。

ー「保健室の先生の仕事」以外にも、たくさんやることがあるんですね。保健室の先生というと、まず健康診断が真っ先に思い浮かぶのですが、健康診断の実施に至るまでは、どのような準備をされるのですか。

学校年間スケジュールを組む際に、前年度の2月ごろに学校医・保健事務と連絡を取り、まず健康診断の日程を決めることから始まります。健診によっては、器材が必要となるため、その発注をしたり、あとは各健診の実施要項の作成や、校内への健診日時・方法の周知を行ったりしています。実施日が近付いたら、学校医・保健事務との最終調整や、手袋や消毒液などに不備がないかの確認も行います。

ー学校が休校となる夏休みの期間中は、どのようなお仕事をされるのですか？

夏季休業期間中は、保健室の先生向けの多くの研修会が都内で開催されているので、積極的に参加するようにしています。また、美術部の副顧問も担当していますので、美術館めぐりや、陶芸教室にも参加しています。



今年は何センチ  
身長が伸びたかな？